広報 きたかた

5月号

2019

No.161

喜多方市公式 facebook

市川市の学校給食で喜多方米提供始まる

千葉県市川市の子どもたちの給食に本市・北塩原村・西会津町で取れたごはんが並びました。（写真上は百合台小学校での給食の様子）

平成30年9月4日、市川市と本市、北塩原村、西会津町との相互交流協定を締結しました。

その交流の一環として、4月から市川市では市立小中学校55校の給食に本市・北塩原村・西会津町産米を提供することになりました。児童生徒数は約3万2000人、年間360㌧（玄米ベース）になります。

また、本市では市川市の特産品の梨を年に2回程度学校給食に取り入れる予定です。

平成23年の福島第一原子力発電所の事故以来、農林水産物などのモニタリングやイベントなどで安全性のPRを行っていますが、観光客の入込数や農林水産物、畜産物はいまだにその影響を受けています。

市川市での米の提供が、風評被害の払しょくや相互交流の一助になると期待されます。

ＪＡ会津よつばが長年にわたり、「長印市川青果」（現在の長印船橋青果）と取引を行い、信頼関係を築いていたことが契機となり実現しました。

問 農業振興課 経営企画係 ☎(24)5235

もくじ Contents
5月号 2019 No.161

P2　市川市の学校給食で喜多方産米提供始まる

P4　「会津の御田植祭」（慶徳稲荷神社の御田植祭）が国重要無形民俗文化財に指定

P6　平成30年度 一行政区一運動

P7　平成30年度 男女共同参画社会づくり功労者表彰式

P8　住むなら喜多方！若者定住促進事業

P9　わくわく！いきいき！高齢者

P10　健康だより

P12　拓け喜多方 まなびのトビラ（生涯学習だより）

P14　喜多方フォトニュース

P16　情報ステーション 補助・支援

P17　募集

P19　イベント

P20　お知らせ

P21　税／年金／ふるさと納税

P22　『わくわく市政ふれあいトーク』対話内容

P23　協働のまちづくり（住民自治）推進事業補助金／ふるさと創生事業補助金（第２次募集）

P24　市営住宅入居者募集

P25　家庭の粗大ごみ収集

P26　相談／休日当番医

P27　わくわく市政ふれあいトーク／美術館／図書館

P28　喜多方の企業 キラリと輝く事業所紹介／人口

▶4月12日の給食　この日の給食は、「福島県の郷土料理」と銘打ち、こづゆなどが提供された。

Interview

百合台小学校　６年生
鈴木　琉以（るい）さん

甘くてもちもちしておいしかった。
いつもの給食のご飯とは違う感じがした。こづゆもおいしくて、また食べたいです。

百合台小学校　６年生
高田　桜祐（おうすけ）さん

いつもはしないけど、今日はおかわりしました。
ご飯は柔らかくておいしかった。カレーライスで食べるのが楽しみです。

市川の梨

千葉県は収穫量、産出額、栽培面積ともに全国１位である梨の産地ですが、その千葉県内で最初の栽培地が市川です。

江戸時代中期から200年の以上の歴史と伝承に裏打ちされた技術と新たな栽培技術を継承しながら、梨の栽培に適した環境を生かしておいしい梨を作り続けてきました。

香り豊かで甘くみずみずしい「市川の梨」は、地域ブランドにもなっています。

田植式・神田での早乙女による田植え、白狐が苗を投げ込む

「会津の御田植祭」（慶徳稲荷神社の御田植祭）が国重要無形民俗文化財に指定

平成31年3月28日

慶徳稲荷神社の御田植祭が「会津の御田植祭」として、伊佐須美神社の御田植祭と共に国重要無形民俗文化財に指定されました。県内では9件目、本市では初めてのことです。

「会津の御田植祭」とは？

御田植祭とは、神田などで氏子が儀礼的な田植えを行って豊作を祈る祭りのことをいい、西日本を中心に広く見られます。会津地方は、近世以前から行われている御田植祭の日本の北限に位置し、その分布を考える上で非常に重要です。また、会津の御田植祭にのみ、「デコ人形（田植人形）」と呼ばれる独特の人形が登場します。これは田の神の依代とも考えられ、田植えの際には田の畔に立てられます。

このように地域的特色も豊かであり、稲作に関係する農耕儀礼を考察する上でも貴重です。会津地方の御田植祭で、今日まで伝統的な形を継承しているのは、慶徳稲荷神社、伊佐須美神社の両御田植祭のみとなっています。

「慶徳稲荷神社の御田植祭」の歴史と特徴

両御田植祭とも、その始まりは中世にまで遡ります。慶徳稲荷神社は、明応年間（1492～1501）、慶徳村の地頭であった平田石見守が神田を寄進したことが始まりとされています。江戸時代に入って一時中断しますが、会津藩の庇護もあり、天保5（1834）年に再興され、今日まで継承されています。

祭日は、慶徳稲荷神社では半夏生の日（7月2日、閏年は7月1日）となっています。祭りは、社殿での神事の後、地区内を神輿が渡御して、神田で早乙女による田植えが行われます。

No.	指定名称	市町村	指定年
1	御宝殿の稚児田楽・風流	いわき市	昭和51年
2	相馬野馬追	相馬市など	昭和53年
3	金沢の羽山ごもり	福島市	昭和55年
4	田島祇園祭のおとうや行事	南会津町	昭和56年
5	石井の七福神と田植踊	二本松市	平成 7年
6	木幡の幡祭り	二本松市	平成16年
7	都々古別神社の御田植	棚倉町	平成16年
8	三島のサイノカミ	三島町	平成20年
9	会津の御田植祭	喜多方市・会津美里町	平成31年

▲県内の国指定重要無形民俗文化財

慶徳町では神輿渡御（みこしとぎょ）に狐の面を着け農具を持った子どもたち（白狐（びゃっこ））が加わり、早乙女が稲苗を植える際に苗を投げ入れ、田植えを手伝います。これは慶徳町でのみ見られる光景で、白狐は市立慶徳小学校男子児童、早乙女は女子児童が担当します。

今後の展望

会津の御田植祭は、平成28年から喜多方市・会津美里町と共同で調査委員会を発足し、調査を行い、平成29年度に調査報告書を刊行しました。

今後は、2カ年をかけて祭の詳細な記録を撮影し、笛や踊りの後継者育成、また他地域へ広く周知・発信するための映像記録を作成します。

他の文化財とは異なり、「モノ」として残らない無形の文化財にとって、映像記録は後世へ正確に伝えていくための大切な資料です。

今後は両市町だけでなく、保存会・小中学校同士の交流などを行いながら、守る・伝える・育てることへの認識を深め合い、魅力あふれるこの祭りが永く継承されるよう、共有する課題の解決へ向け取り組んでまいります。

問 文化課 文化振興班
☎(24)5323

▲神社境内に立てられるデコ人形（田植人形）

▲神輿渡御

▲笛の練習（慶徳小学校）

▲大正時代の御田植祭の様子

慶徳稲荷神社
お田植まつり保存会
会長　中丸 久雄さん

平成28年から始まったさまざまな調査が国の指定につながり、本当にうれしく思っています。

慶徳稲荷神社の御田植祭は、室町時代に始まったとされ、江戸時代に約180年の中断を経て、天保5（1834）年に再興を果たし、今日まで継承されてきました。その年の豊作を祈る御田植祭が大切な存在であったことは、今も昔も変わらないことであり、再興、継承の原動力は、このような地域の人々の共通の願いにあったのだと思います。

私たちの住む慶徳町でも、全国の例にもれず、祭りの重要な担い手である子どもたちの数が少なくなっており、危機感を抱いています。今回の指定を新たなスタートとして捉え、継承のための対策の検討、地域としてできることを真剣に模索していきたいと考えています。

先人から託されたバトンを次の世代に引き継ぐため、今後も市と一体となって祭りの継承対策に取り組んでいきたいと思います。

平成30年度一行政区一運動

コミュニティ活動などにより地域の活性化に貢献した31行政区を表彰しました

環境整備の部

行政区低炭素化促進事業（LED推進）

◆本仲町行政区（喜多方）
◆下町北部行政区（喜多方）
◆月見町行政区（喜多方）
◆花園町行政区（喜多方）
◆清水台行政区（松山町）
◆大荒井第二区行政区（松山町）
◆天井沢行政区（岩月町）
◆上高額行政区（関柴町）
◆吉沢行政区（熊倉町）
◆辻行政区（熊倉町）
◆芦平行政区（熊倉町）
◆舞台田行政区（慶徳町）
◆洲谷行政区（山都町）
◆本木行政区（山都町）
◆漆窪行政区（高郷町）
◆大谷行政区（高郷町）

地区内の全ての街路灯をLED器具へ切り替え、地域住民の低炭素化社会推進に向けての意識高揚を図りました。

資源ゴミ分別ルール違反撲滅運動

◆熊倉下行政区（熊倉町）

住民自らが地区内の環境について考え、環境美化・向上に取り組むなど、住民のゴミ分別への意識高揚と違反件数の低減を図りました。

環境美化運動

◆七本木行政区（熊倉町）
◆松野行政区（慶徳町）
◆高吉二区行政区（豊川町）
◆吹荻行政区（高郷町）

ゴミ集積庫を設置すると共に、集積庫周辺への花・樹木の植栽、ゴミ分別等講習会を実施するなど、地域住民の環境美化に対する意識高揚を図りました。

高郷見晴らしの丘池ノ原展望台整備事業

◆池ノ原行政区（高郷町）

池ノ原地区から望む絶景の魅力を広くPRするため、看板を作成・設置するなど、観光PRおよび地域活性化を図りました。

文化の部

太鼓台整備等事業

◆上岩崎行政区（岩月町）
◆小沼行政区（熊倉町）

太鼓の整備・修繕などを行い、地域住民の交流と地域伝統の保存・継承を図りました。

大沢地区の祭礼における山車運行復活事業

◆大沢行政区（塩川町）

60年前に消滅した祭礼における山車運行を復活させるなど、地域を挙げて地域住民の世代間交流の促進、地域伝統の保存・継承および地域活性化を図りました。

コミュニティの部

高齢者の家籠り対策事業

◆新町行政区（喜多方）

花植栽による環境美化を図ると共に、越冬管理の難しい花の植栽に挑戦し、管理方法や肥料、植える位置など頭を使うことで脳トレーニングにつなげるなど、家にこもりがちな高齢者を中心とした健康増進・生きがいづくりおよびコミュニティ活動の推進を図りました。

掲示板設置（更新・新設）による各種案内の周知事業

◆太田行政区（豊川町）

風雨に耐えられる掲示板へ更新すると共に、別な場所にも新設し、市をはじめ、地区の事業の案内を周知徹底するなど、コミュニティ活動の推進を図りました。

☎広報に記載の市内電話番号☎『旧喜多方市、熱塩加納町、塩川町、山都町』と『高郷町』との通話には市外局番０２４１が必要です。携帯電話からは市外局番０２４１が必要です。

屋外放送設備整備事業

◆大沢行政区（塩川町）

屋外用放送設備を設置し、地域住民に対する日常の情報や災害時の緊急情報を伝達するなど、コミュニティ活動の推進を図りました。

地域課題解決事業

◆三方行政区（高郷町）

地域の伝統食材で名産品であった「ジュンサイ」採取を復活させるため、木造箱舟を新造したもので、地域を挙げてコミュニティ活動を推進し、イベント販売を通しPRするなど、地域活性化および集落おこしを図りました。

大学生の力を活用した集落復興支援事業

◆本村行政区（高郷町）

地域資源の利活用により安心して住み続けられる集落を目指し取り組んだもので、大学生の力を活用し、集落全戸のヒアリング調査や地域住民との交流会を実施するなど、コミュニティ活動の推進を図りました。

その他の部

自主防災活動事業

◆小沼行政区（熊倉町）

◆第13区行政区（塩川町）

自主防災組織を結成し、地域ぐるみで防災に関する活動を行っており、毎年、防災・消火訓練を実施するなど、地域社会の活性化、防災意識の高揚を図りました。

有害鳥獣対策事業

◆豊岡行政区（慶徳町）

野生獣による農作物の食害や田の踏み荒らし被害に対応するため、集落環境診断、クマワナ設置、田の周辺に電気柵設置を行うなど、農作物被害の低減と農山村の維持・保全を図りました。

問 総務課 行政係 ☎(24)5204

▲表彰式の様子

平成30年度 男女共同参画社会づくり功労者表彰式

3月30日、厚生会館で、男女共同参画社会の実現に貢献された事業所を表彰しました。

表彰式は、喜多方市男女共生のつどいに先立ち行われ、山﨑信子表彰選考委員会委員長が選考経過を報告し、遠藤市長から受賞者に表彰状と記念品が手渡されました。

事業所・団体部門

◆株式会社高橋建設

◆株式会社コウキコンサルタント

〈主な取り組み〉

女性の能力発揮を促進する取り組み、仕事と育児・介護の両立支援の取り組み、男女の人権に配慮した環境づくりへの取り組みなど、2社共に安心して長く働き続けられる職場環境の整備に努め、男女共同参画社会の形成に向け、積極的に活動しています。

なお、それぞれの功労内容は、市ホームページに掲載しています。

問 企画調整課 企画調整班 ☎(24)5209

住むなら喜多方！
若者定住促進事業

●内容
市外からの若者の移住と市内の若者の定着を促進し、本市人口の転入転出バランスの改善を図ることを目的として、市内に定住するために住宅を取得する若者に対し補助金を交付します。

●対象
・40歳未満で注文住宅を新築した方
・40歳未満で新築建売住宅を購入した方

●補助条件 10年以上定住すること

●補助額 住宅の取得経費の5分の1以内で市が定める額

●申請期間
・注文住宅の場合は、建築確認工事完了検査の検査済証の発行日から6カ月以内
・建売住宅の場合は、売買契約締結日から6カ月以内

転入の場合		市内転居の場合
100万円	補助基本額	10万円
＋		＋
100万円	配偶者加算額	10万円
＋		＋
20万円（1人につき）	子育て加算額 ※最大5人まで	10万円（1人につき）
＋		＋
10万円	市内建築事業者加算額	10万円
＋		＋
80万円（または90万円）	県外転入者加算額 ※県の予算の範囲内で交付	―
＝		＝
単身の場合 100万円 夫婦＋子供5人＋市内事業者＋県外転入者の場合 400万円		単身の場合 10万円 夫婦＋子供5人＋市内事業者の場合 80万円

住宅金融支援機構と【フラット35】に関する協定を締結しています

市と住宅金融支援機構が連携し、子育て世帯および移住者（UIJターン）の住宅取得を支援します。「喜多方市若者定住促進事業」を利用して市内に住宅を取得する場合、住宅ローン【フラット35】の借入金利が当初5年間、年0・25％引き下げられます。

この制度を利用するには、事前に市で「フラット35子育て支援型・地域活性化型利用証明書」の交付を受ける必要があります。

問申 地域振興課 地域振興推進班 ☎(24)5306

問 住宅金融支援機構お客様コールセンター ☎0120(0860)35

【フラット35】子育て支援型・地域活性化型

子育て支援や地域活性化への取り組みを行う地方公共団体と住宅金融支援機構が連携し、住宅取得に対する補助金交付などとセットで【フラット35】の借入金利を一定期間引き下げる制度です。

☎広報に記載の市内電話番号☎『旧喜多方市、熱塩加納町、塩川町、山都町』と『高郷町』との通話には市外局番0241が必要です。携帯電話からは市外局番0241が必要です。

わんわんパトロール隊　認知症サポーター養成講座

現在20人の方と23頭の愛犬が、わんわんパトロール隊員として活躍しています。

わんわんパトロール隊とは…

愛犬とその飼い主さんがいつもの散歩時間を利用して、地域の高齢者などの見守り活動を行うことです。

わんわんパトロール隊になるには、「わんわんパトロール隊希望」と電話で申し込み、認知症サポーター養成講座（わんわんパトロール隊）を受講します。

養成講座では認知症の方との接し方や、わんわんパトロール隊の見守り活動についての方法を学びます。

受講修了者には任命証と隊員証を交付します。

地域の見守りを意識しながら隊員証をつけて、愛犬と散歩してみませんか？

第1回
日時 5月28日（火）午後1時30分～3時
場所 第1会議室（本庁舎3階）

第2回
日時 6月6日（木）午後1時30分～3時
場所 第1会議室（本庁舎3階）

※第1回・第2回共に同じ内容です。

▶任命証

▶隊員証（愛犬との散歩の際に身につけます）

問 高齢福祉課　地域包括ケア推進係
☎(24)5242

地区のみんなで運動しましょう
太極拳ゆったり体操地区推進事業

転倒予防・筋力アップ効果があり、腕が上がるようになった、腰や膝の痛みが軽減されたなど感想が寄せられています。1回30分～60分の体操です。費用負担はありません。

申し込み要件
①おおむね65歳以上の方の約10人以上のグループ
②連絡調整ができる世話人がいること
③年間5～20回開催できること
④グループで会場、いすの準備ができること

いきいきサロンやつどいの場でいかがですか。体験教室もありますので気軽に問い合わせてください。

▲太極拳ゆったり体操教室に１年間参加された方にインタビュー

問 高齢福祉課　介護予防係
☎(24)5242

第2回　地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて

福島県現住人口調査（平成31年3月1日現在）によると、本市の高齢化率は36・5％となっており、県内13市で一番高くなっています。

今後も少子高齢化、高齢者の1人暮らし、高齢者のみの世帯の増加が見込まれることから、どのような支援や取り組みができるか、どのような連携が必要かを話し合う取り組みを行っていきます。

《生活支援支え合い連携会議》

地域における支え合いの体制づくりの推進と生活支援体制の構築と充実を図るため、平成31年2月に「生活支援支え合い連携会議」が開催されました。

《在宅医療・介護連携会議》

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で最後まで自分らしい生活を実現するため、平成31年3月に「在宅医療・介護連携会議」が開催されました。

二つの会議での意見を参考にしながら、今後の高齢者を支援する仕組みや地域づくりに努めていきます。

問 高齢福祉課　地域包括ケア推進係
☎(24)5242

健康だより

健(検)診と人間ドックを比較してみました

健(検)診と人間ドックは、どちらも「体の状態をチェックする」意味では同じですが、一般的に人間ドックの方が、体全体のスクリーニング検査を受診することが可能だと言われます。

しかし、市の全ての健(検)診を受けた場合と人間ドックを受けた場合を比較してみると、同様の検査が受けられることがわかります。

健(検)診と人間ドックの比較

検査項目	実施の有無	
	健(検)診	人間ドック
国保特定健診	○	○
肺がん検診	○	△
胃がん検診	○	○
大腸がん検診	○	○
前立腺がん検診	○	△
乳がん検診	○	△
子宮がん検診	○	△
肝炎検診	○(生涯に1回実施)	△
自己負担金	施設健(検)診受診の場合(肝炎検診を除く) 男性　4,300円 女性　5,700円 国保特定健診は全員無料 70歳以上・非課税世帯は無料 年齢によって無料の健(検)診あり	約1万1,000円 ～14万6,100円 2万円を上限に助成しています

△:実施の有無やオプションなど、医療機関により異なります

それぞれの検査の主な違いを把握し適切な検査を受けましょう

検査内容の主な違い

・検診では、超音波検査は受けることができません。

・人間ドックの方が血液検査の検査項目が多いのですが、市の検診は国の基準を満たしており、さらに腎機能検査を追加しています。

・胃、肺、乳がんの検診は、医師が2人で結果を判定し精度を高めています。

・人間ドックの肺がん検診、前立腺がん検診、乳がん検診、子宮がん検診など、表中で△の箇所については、医療機関によってはオプション(自己負担)となる場合があります。

費用の違い

国保特定健診(国保被保険者)は無料なので、他の全部のがん検診を受診しても、男性4300円、女性5700円です。人間ドックは1万1000円からなので、費用は半額以下です。また、年齢によってはもっとお得な健(検)診もあります。

※詳しくは、4月2日配布の喜多方市健康のしおりを確認してください。各種健(検)診・人間ドックが7月から始まります。該当する健(検)診を確認し、必ず受けましょう。

5月31日は 世界禁煙デー

喜多方市の喫煙率はどのくらいか知っていますか？

平成27年度の喫煙率（市民健康生活習慣アンケートより）は、男性30・2％、女性8・8％となっています。また、COPD（慢性閉塞性肺疾患）での死亡率は31・2％となっており、国や県の死亡率と比べて高い状態であることが分かります。

COPD（慢性閉塞性肺疾患）を知っていますか？

COPDは、たばこの煙を長期間吸入し続けることで、空気の通り道である気道が慢性的な炎症を起こし、肺の組織が壊れる病気です。初期段階では症状はありませんが、進行に伴い体を動かす際に息切れするようになります。慢性的な咳やたんも見られます。

COPDの死亡率（H29・10万人対）

全国	福島県	喜多方市
14.9	18.4	**31.2**

出典資料：保健統計の概況 平成29年版

喫煙による健康障害

がん発症率の上昇

非喫煙者を1とした場合、男性喫煙者では1・64倍、女性喫煙者では1・46倍に上昇します。

生活習慣病の悪化

喫煙は、高血圧や脂質異常、高血糖をはじめとする生活習慣病の進行を早め、動脈硬化を促進させます。

受動喫煙

喫煙者が吸っている煙よりも、たばこから立ち昇る煙のほうが有害物質は多く含まれているため、たばこは、あなた自身の健康を害するだけでなく、大切な家族の健康にも大きな影響を及ぼします。

禁煙相談事業

市内の保険薬局が窓口となり、禁煙相談を行います。禁煙外来の紹介や禁煙補助薬（ニコチンパッチ、ニコチンガム）の相談もできます。

禁煙を希望する方には、禁煙相談券を配布しています。

相談開始：7月から
相談料：無料
※禁煙相談券がなくても、かかりつけ薬局で相談ができます。

問 保健課 健康推進室 ☎(24)5223

ほっときらり通信

喜多方市 地域・家庭医療センター「ほっと☆きらり」
医師 武田 仁

肩がこったら胸を張ろう ～不良姿勢・体のゆがみの予防

皆さんこんにちは。今回は姿勢の話です。私たちは加齢に伴い、子どもの頃には無縁だった肩こりや腰痛に悩まされるようになります。原因の一つは、生活の中で長期間続けている「不良姿勢」です。

不良姿勢の一つに、いわゆる猫背があります。猫背が続くと、首の前の筋肉は収縮して短く、逆に首の後ろの筋肉は引き伸ばされて弱くなります。首に不均衡な力がかかり続けると頭痛や肩こりが生じ、やがて首の骨が変形して頸椎症の原因になります。首の形がゆがむと下顎が前に出て、顎を動かす筋肉のバランスが崩れて顎関節症になることもあります。さらに首の形のゆがみは腰にも波及し、腰にかかる負担が増えて腰痛が生じ、変形を起こして腰椎症の原因にもなります。一方、首の筋肉が固くこわばると周囲の神経が圧迫され、肩回りの筋肉が弱くなり、肩の病気の原因にもなります。

このように猫背だけでも、放置していると体全体がゆがみ、慢性的な痛みや不調の原因になります。不良姿勢の治療の基本は、収縮して短くなった筋肉をストレッチで伸ばし、引き伸ばされて弱くなった筋肉を筋トレで鍛えることです。猫背の場合には、縮んだ胸の筋肉を伸ばし、弱くなった背中の筋肉を鍛えることが効果的です。具体的には、背筋を伸ばして胸を張り、肘を直角に曲げて顔のすぐ前で拍手をするような姿勢を取り、そのまま両腕を両側に大きく開いて胸の筋肉を伸ばし、背中の筋肉を引き締めて10秒程度キープします。この動作を数回繰り返す体操が、手軽に行えておすすめです。肩こりや腰痛は、生活の中で不良姿勢が続いていることのサインかもしれません。体のゆがみを全身に広げないためにも、家庭や職場での姿勢を見直し、体への負担が少ない良い姿勢で過ごすことを心がけてみてください。

県営荻野漕艇場でボート体験事業を実施しませんか

高郷町の県営荻野漕艇場は、県内唯一の公認ボートコースとして、毎年多くの団体や選手の皆さんが利用しています。市民の皆さんにも、安心してボートを楽しんでもらえるよう、市民やスポーツクラブなどが自主的に実施する「ボート体験事業」にボートインストラクターを派遣します。

職場のレクリエーションやPTA行事などでも利用もできます。

◆**実施期間**　5月～11月
◆**講師**　日本ボート協会認定ボートインストラクター、ボートクラブ会員
◆**対象**　市民5人以上のグループ
◆**内容**　2時間程度のボート体験
◆**派遣申請**　所定の申請書に必要事項を記入し、生涯学習課に提出してください。ただし、大会開催などで実施できない場合もありますので、あらかじめ希望日程を相談してください。

※傷害保険は、体験事業主催者、または参加者が自ら加入してください。

問申　生涯学習課 ボートのまち推進係
☎(24)5327

第12回喜多方シティレガッタ開催日程のお知らせ

真夏の水上運動会として親しまれている喜多方シティレガッタの大会日程は、次のとおりです。

◆**開催日**　7月27日(土)
◆**会場**　県営荻野漕艇場(高郷町)

これまで8月第1日曜日に開催してきましたが、変更となりました。

大会要項や参加申し込みは、広報6月号でお知らせいたします。

問　生涯学習課 ボートのまち推進係
☎(24)5327

自分の体力と運動能力をチェックしてみましょう

スポーツを楽しむためには、自分の体力と運動能力を正しく知ることが大切です。皆さんの健康づくりや競技力の向上のため参加してみませんか。事前申し込みは不要です。気軽に参加してください。全種目測定された方には記録表をお渡しします。

◆**開催日**　5月26日(日)
◆**測定時間**　午前9時～正午
◆**受付時間**　午前9時～11時30分(最終)
◆**対象**　20歳～79歳までの市民
◆**参加料**　無料
◆**会場**　押切川公園体育館
◆**測定種目**　①握力、②上体おこし、③長座体前屈、④反復横とび、⑤20㍍シャトルラン(往復持久走)、⑥立ち幅とび、⑦開眼片足立ち、⑧10㍍障害物歩行、⑨6分間歩行
◇20歳～64歳は①～⑥を、65歳以上は①②③⑦⑧⑨を実施します。
※スポーツ庁による「体力・運動能力調査」に準じます。
◆**服装**　上履き、ジャージなど
※身長や体重、血圧測定も行います。

問　(公財)喜多方市体育協会
☎(23)0771

喜多方市人づくりの指針
みんなで育もう　未来を拓く喜多方人

喜多方市人づくりの指針「未来を拓く喜多方人」は、人材の育成、青少年の健全育成などを目的に策定された、私たちが目指す姿です。

この指針は、瓜生岩子、蓮沼門三など、郷土の発展に尽くした先人や藤樹学の教えを尊重し、本市の置かれた風土や文化、歴史などに基づいて作られました。

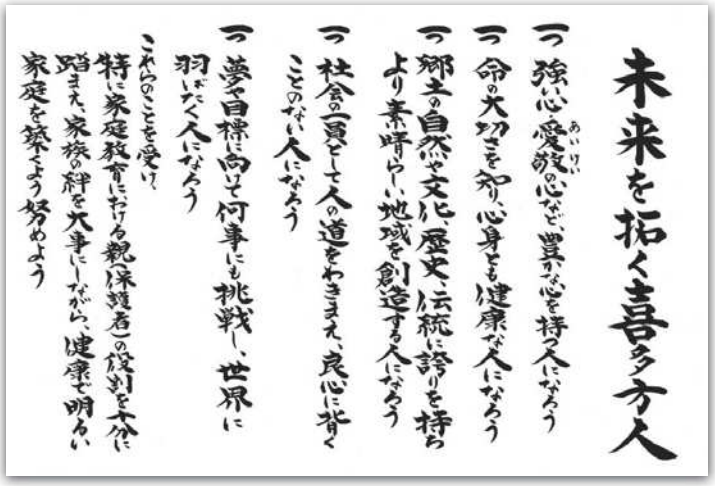
指針に示された内容は、青少年の目指す姿であると同時に、大人としての行動指針でもあります。

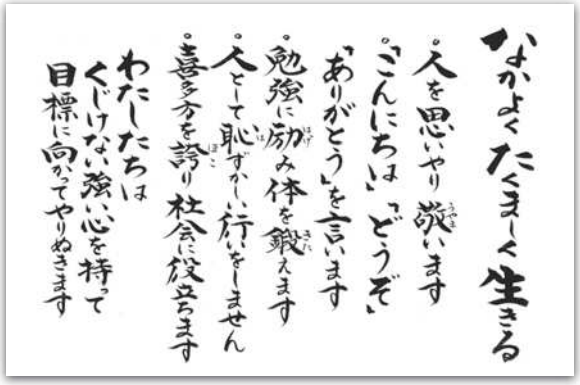
また、児童生徒が目指す姿として、「なかよくたくましく生きる」を示しています。

家族や地域の皆さんが青少年のお手本となり、「未来を拓く喜多方人」を一緒に育んでいきましょう！

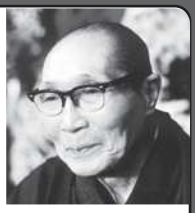
※中央公民館や各地区公民館では、人づくりの指針を学ぶ取り組みを実施しています。詳しくは4月に全戸配布しました「喜多方市生涯学習ガイド」をご覧ください。

問 生涯学習課 生涯学習係 ☎(24)5318





郷土の発展に尽くした先人たち



蓮沼（はすぬま） 門三（もんぞう）

愛なき人生は
暗黒なり
汗なき社会は
堕落なり

蓮沼門三は、明治15年に現在の山都町に生まれました。地元の小学校を卒業後、東京の師範学校に入学し、そこで、友達と共に人格を向上させるための修養団をつくりました。

門三は98年の生涯をかけて一「愛」の心ですべての人と仲良く、努力の「汗」を流して社会を良くし、すべての人が幸せになる明るい世界をつくろうーと社会教育と社会事業に生涯を捧げました。

瓜生（うりゅう） 岩子（いわこ）

自分ばかり
よくなったって
何もならねぇと
思うのす

瓜生岩子は、文政12年に小田付村(北町)に生まれました。母や夫に先立たれた岩子は大変悲しみましたが、世の中には不幸な人が多いことを思い、それらの人のために尽くそうと決心しました。

戊辰戦争では、敵、味方の別なく傷ついた人を看護しました。また、貧しい人や親のない子どもたちの救済と教育に奔走し、日本のナイチンゲールと讃えられました。

中江（なかえ） 藤樹（とうじゅ）

人の本心は
善にして悪なし
これすなわち
固有の良知にして、
人々皆しかり

中江藤樹は、近江の国の高島郡小川村(現滋賀県高島市)に今から約410年前に生まれました。藤樹の教えは、立派な道徳を身に付け、父母や周囲に「孝」を尽くすことにあります。一人一人が自分の曇りのない心をつかむこと、つかんだらこの心に基づいて行動すること、そうすることで、親や子どもを幸せにできるという考えです。喜多方では、約220年にわたりその教えが脈々と引き継がれています。